

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-01 先進医学と 現代社会	20130587004101	●先進医学と 現代社会 II(免疫と病 気)	和	E	由井 克 之	1年,2年,3年,4年	前期	金 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-01 先進医学と 現代社会	20130587004501	●先進医学と 現代社会 II(エイズと 性感染症)	和	E	西田 教 行	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-01 先進医学と 現代社会	20130587004901	●先進医学と 現代社会 II(感染症と 文明)	和	E	山本 太 郎	1年,2年,3年,4年	後期	木 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-01 先進医学と 現代社会	20130587005301	●先進医学と 現代社会 II(話題の先 進医学)	和	E	工藤 崇	1年,2年,3年,4年	後期	木 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-01 先進医学と 現代社会	20130587005701	●先進医学と 現代社会 II(幹細胞と 再生医療)	和	E	李 桃生	1年,2年,3年,4年	後期	金 4	～

[戻る](#)

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-01 先進医学と現代社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587004101	科目番号	05870041
授業科目名	●先進医学と現代社会II(免疫と病気)		
編集担当教員	由井 克之		
授業担当教員名(科目責任者)	由井 克之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	由井 克之,本間 季里,阿比留 教生,一瀬 邦弘		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス	katsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬学総合研究科・感染免疫学講座・免疫機能制御学分野		
担当教員TEL	819-7070		
担当教員オフィスアワー	12-13時		
授業のねらい	社会人として生活していく上で必要な医学的な知識を身につけること。特に感染から体を守る免疫系と、その異常による病的側面を中心に体の不思議な仕組みについて学ぶ。		
授業方法(学習指導法)	講義形式を主体とする。適宜課題を出し、学生の授業への積極的な参加を促す。身近な問題から始めて、免疫学の基本が理解できるように進める。		
授業到達目標	感染等異物から体を守る免疫系の基本的な仕組みについて説明できる。 免疫系の異常による病気について、その種類と原因の概要を説明できる。		
授業内容	回	内容	
	1	導入、ワクチンは何故効くのか？抗体、免疫記憶（担当：由井）	
	2	インフルエンザに毎年罹患するのは何故か？免疫エスケープ（担当：由井）	
	3	移植臓器は何故拒絶されるのか？MHCの発見（担当：由井）	
	4	移植臓器は何故拒絶されるのか？免疫寛容（担当：由井）	
	5	癌に免疫は効くのか？自己と非自己（担当：本間）	
	6	癌に免疫は効くのか？細胞性免疫（担当：本間）	
	7	花粉症になる人とならない人がいるのは何故か？アレルギーⅠ（担当：本間）	
	8	花粉症になる人とならない人がいるのは何故か？アレルギーⅡ（担当：本間）	
	9	免疫が機能しないとどうなるか？先天性免疫不全（担当：本間）	
	10	免疫が機能しないとどうなるか？後天性免疫不全（担当：本間）	
	11	免疫が自分を攻撃する病気とは？（担当：一瀬）	
	12	生活習慣病ではない糖尿病、免疫で起こる糖尿病とは？（担当：阿比留）	

	13	免疫病にはどのような治療法があるのか？（担当：一瀬・岩本）
	14	免疫と神経・筋疾患（担当：阿比留・中嶋）
	15	総まとめ（担当：由井）
	16	予備
キーワード	抗体、白血球、感染	
教科書・教材・参考書	小安重夫著「免疫学はやっぱりおもしろい」羊土社2008年	
成績評価の方法・基準等	筆記試験（60％）。 授業中に行う課題レポート及び小テスト（40％）。	
受講要件（履修条件）	先進医学と現在社会モジュールⅠに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。	
本科目の位置づけ	一般教養としての医学知識	
学習・教育目標	健康な社会生活を送る上で必要な基本的な医学知識を理解し身につけること。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-01 先進医学と現代社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587004501	科目番号	05870045
授業科目名	●先進医学と現代社会II(エイズと性感染症)		
編集担当教員	西田 教行		
授業担当教員名(科目責任者)	西田 教行		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西田 教行		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養G棟]G-38		
対象学生（クラス等）	教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス	noribaci@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	感染分子解析学		
担当教員TEL	095-819-7059		
担当教員オフィスアワー	木曜午後5時以降		
授業のねらい	ウイルス学と細菌についての基本を学び、HIV感染・エイズについての諸問題を考える。また他の性感染症の実態と対策について学ぶ。		
授業方法（学習指導法）	アクティブラーニングを中心に行う。テーマについて各自情報を集取し、分析、発表を行う。グループ学習を行う。講義時間は主にディスカッションの時間とする。		
授業到達目標	情報を集取できる 情報の信頼性を吟味できる 情報をもとに論理的考察ができる 異なるアプローチを理解できる 異なる意見、考え方を理解し議論できる		
授業内容	回	内容	
	1	講義オリエンテーション、概要説明、グループ分け、サブテーマ決め	
	2	HIVグループ発表準備、グループディスカッション	
	3	HIVグループ発表（1）、ディスカッション	
	4	HIVグループ発表（2）、ディスカッション	
	5	全体討論、ミニテスト	
	6	HIVグループ発表（3）、ディスカッション	
	7	講義：他の性感染症の概要	
	8	性感染症グループ発表（1）、ディスカッション	
9	性感染症グループ発表（2）、ディスカッション		

	10	性感染症グループ発表（3）、ディスカッション
	11	性感染症グループ発表（4）、ディスカッション
	12	レポート作成準備
	13	レポート作成指導
	14	レポート作成指導
	15	最終個人発表会（1）
	16	最終個人発表会（2）
キーワード	エイズ、HIV、性感染症	
教科書・教材・参考書	参考図書（推薦本） 薬害エイズ「無罪判決」、どうしてですか？：桜井よしこ他 エイズを知る：エイズ&ソサエティ研究会議 感染症は世界史を動かす：岡田晴恵 エイズ[ウイルスの起源と進化]：山本太郎訳、Jaap Goudsmit 著 エマージングウイルスの世紀：山内一也 血液の歴史：ダグラス・スター著、山下篤子訳	
成績評価の方法・基準等	レポート60点 発表30点 ミニテスト10点 尚、詳細は変更することがある	
受講要件（履修条件）	先進医学と現代社会モジュールⅠに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。	
本科目の位置づけ	現代教養人としての知識の習得と思考能力を養う	
学習・教育目標	信頼性高い情報を取捨選択し、自分で考え判断する能力を養い、意見の異なる他の人とのコミュニケーション能力を養う	
備考（URL）	http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/mmi/cmb/index.html	
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-01 先進医学と現代社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587004901	科目番号	05870049
授業科目名	●先進医学と現代社会II(感染症と文明)		
編集担当教員	山本 太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山本 太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山本 太郎		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	y-taro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	熱帯医学研究所206号室		
担当教員TEL	095-819-7869		
担当教員オフィスアワー			
授業のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会と疾病について考える。 2. 地球と生命の共進化について考える 		
授業方法（学習指導法）	講義、演習、課題発表を組み合わせで行う。		
授業到達目標	授業のねらいについて、自分で考える力を養う。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	分子生物学	
	3	分子進化と感染症	
	4	宿主適応と免疫応答	
	5	史実関連	
	6	感染症との闘い	
	7	現代の感染症	
	8	社会と感染症対策	
	9	社会と感染症対策	
	10	社会と感染症対策	
	11	トピックス（1）	
	12	トピックス（2）	
13	トピックス（3）		

	14	課題発表（1）
	15	課題発表（2）
	16	
キーワード	疾病、社会、地球との共進化、歴史、環境	
教科書・教材・参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 山本太郎. 『感染症と文明－共生への道』（岩波新書） 2. 山本太郎. 『新型インフルエンザ 世界がふるえる日』（岩波新書） 3. 山本太郎. 『ハイチ いのちとの闘い』（昭和堂） 4. ヨハン・ギセック著. 山本太郎訳. 『感染症疫学』（昭和堂） 	
成績評価の方法・基準等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題発表点 2. 授業参加 	
受講要件（履修条件）	分離融合的、学際的学問分野に興味のある学生	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	分離融合的、学際的学問分野への興味を喚起する	
備考（URL）		
備考（準備学習等）		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-01 先進医学と現代社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587005301	科目番号	05870053
授業科目名	●先進医学と現代社会II(話題の先進医学)		
編集担当教員	工藤 崇		
授業担当教員名(科目責任者)	工藤 崇		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	工藤 崇		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-11		
対象学生（クラス等）	全学生		
担当教員Eメールアドレス	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医歯薬 原爆後障害医療研究施設 原研放射		
担当教員TEL	095-819-7101		
担当教員オフィスアワー	16:00-17:00		
授業のねらい	先進的医学としてどのようなものが行われているかを知るとともに、先進医学が工学、数学、理学などの他学問との密接な関係で成り立っていることを知り、応用発展を考える。なお、本授業でいう「先進医学」とは法的に定義された用語としての「先進医療」ではなく、進んだ医療・先端的な医療・医学という意味です。		
授業方法（学習指導法）	様々な医学の技術、診断、治療法を講義を通して知る。それとともに、それらの医療技術のためには医学・生物学以外にどのような領域の知識が必要とされるかを自習・発表・討論を通して考察する		
授業到達目標	医療における医学・生物学とそれ以外の学問領域との関連を理解する。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	診断学と放射線	
	3	X線を用いた画像診断	
	4	X線を用いない画像診断(MRI)	
	5	放射性同位元素を用いた診断	
	6	統計学と画像	
	7	放射線と治療	
	8	グループ学習：物理学と医療	
	9	歯学・歯科理工学を学ぶ前に必要な知識	
	10	歯学と材料工学	
11	感覚器先進医学を学ぶ前に必要な知識		

	12	耳鼻科先進医学と工学
	13	眼科の先進医学と光学
	14	グループ学習：医学以外の学問を医学に応用するには
	15	グループ学習発表
	16	
キーワード	先進医学、先進医療、医学、統計学、工学、数学	
教科書・教材・参考書	特定の教科書は必要としない。適宜、プリント・資料を配付する。	
成績評価の方法・基準等	2/3以上の出席。グループ学習、発表、討論は全出席。試験で60点以上。	
受講要件（履修条件）	原則として、全回出席。予習を十分に行い、討論の時間には積極的な発言が望まれる。	
本科目の位置づけ	医学・生物学と、他領域の学問の連関を理解する。	
学習・教育目標	医学以外を専門とする学生が対象である。各々の専門とする領域が医学に対してどのような関わりを持つことができるか、学問間の連携について多様な発想ができ、創造的に考えることができるようになる。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	時々、新聞記事、ネットなどを用いて先進的な医学についての予習を要求します。また、得られた知識を用いてどのような新たな先進医学が可能であるか、考え発表してもらいます。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-01 先進医学と現代社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587005701	科目番号	05870057
授業科目名	●先進医学と現代社会II(幹細胞と再生医療)		
編集担当教員	李 桃生		
授業担当教員名(科目責任者)	李 桃生		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	李 桃生,田口 潤,堺 裕輔,虎島 泰洋		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生(クラス等)	教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス	litaoshe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	原爆後障害研究施設 幹細胞生物学		
担当教員TEL	095-819-7099		
担当教員オフィスアワー	9:00am~5:30pm		
授業のねらい	幹細胞と再生医療の知識を習得すると共に、医療、健康、生命になど一般的な社会問題に対する関心を深める。		
授業方法(学習指導法)	講義、グループ勉強・発表会		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幹細胞の一般的概念を知り、幹細胞研究の最新情報と動向を把握できる。 2. 再生医療の一般的概念を知り、幹細胞を使った再生医療の臨床応用の現状と将来への展望を理解できる。 3. 幹細胞研究と応用の問題点を知り、特に倫理的問題点について各自の考えを基づき議論できる。 		
授業内容	第1回(4月5日): ガイダンス、幹細胞の基礎知識(李) 第2回(4月12日): 体性幹細胞について(李) 第3回(4月19日): 胚性幹細胞について(李) 第4回(4月26日): iPS細胞について(李) 第5回(5月10日): クローン技術について(李) 第6回(5月17日): グループ学習と討論(幹細胞研究の倫理問題について)(李) 第7回(5月24日): 再生と再生医療の基礎知識(李) 第8回(5月31日): 造血幹細胞と再生医療(1)(田口) 第9回(6月7日): 造血幹細胞と再生医療(2)(田口) 第10回(6月14日): 肝臓・膵臓の再生医療(堺) 第11回(6月21日): 消化管の再生医療(虎島) 第12回(6月28日): 心臓・血管の再生医療(李) 第13回(7月5日): 脳・神経の再生医療(李) 第14回(7月12日): その他の領域の再生医療(李) 第15回(7月19日): 学生発表と総合討論、試験(李)		
キーワード	幹細胞、再生医療		
教科書・教材・参考書			

成績評価の方法・基準等	出席点 20 発表点 30 課題レポート点 20 期末試験 30
受講要件（履修条件）	幹細胞と再生医療に対して興味があり、勉強する意欲のあること
本科目の位置づけ	最新医学を理解する
学習・教育目標	自主的に学び、理解に必要な知識の習得に努める
備考（URL）	
備考（準備学習等）	

